

日本体力医学会特別大会 –2023東京シンポジウム–のご案内（第2報）

日本体力医学会特別大会 –2023東京シンポジウム–は以下のように準備を進めております。全国から多くの会員の皆さまのご参加を心からお待ちしております。

なお、大会の最新情報は特別大会ホームページ（<https://tairyoku-tokyo.com>）をご覧ください。

記

1. 会 期：令和5年9月17日(日)
2. 会 場：早稲田大学大隈記念講堂（早稲田キャンパス）
（〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104）
3. 大 会 長：鈴木 政登（一般社団法人日本体力医学会 理事長）
4. 大会事務局：早稲田大学スポーツ科学学術院内（所沢キャンパス）
日本体力医学会特別大会 –2023東京シンポジウム–事務局
事務局長 前田 清司（早稲田大学スポーツ科学学術院 教授）
〒359-1192 埼玉県所沢市三ヶ島2-579-15
運営事務局：株式会社JTB 茨城南支店内
日本体力医学会特別大会運営デスク
〒305-0032 茨城県つくば市竹園2-2-4 第2・ISSEIビル302
TEL：029-860-2872 FAX：029-854-1664
E-mail：mice-tsukuba@jtb.com
5. 大会プログラム（予定）
 - （1）シンポジウム
 - （2）学会賞受賞講演
 - （3）その他

参加登録方法

1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ホームページ上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、できるだけ事前登録にご協力いただきますようお願いいたします。

2. 大会参加費（予定）

学会会員	事前登録	一般	5,000円	学生	3,000円
	当日登録	一般	6,000円	学生	4,000円
非会員	事前・当日登録	一般	6,000円	学生	4,000円

3. 事前登録

(1) 事前登録期間

2023年4月3日(月)～8月17日(木) 正午まで

(2) 事前登録方法

事前登録は大会ホームページ上で受け付けます。大会ホームページの参加登録のページから、案内に従い登録を行って下さい。

特別大会ホームページ: <https://tairyoku-tokyo.com>

※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意ください。

(3) 事前登録の参加費支払い方法

大会参加費は、オンラインでの参加登録システムにおいて、①クレジットカード、②銀行振り込み、③コンビニエンス決済のいずれかの方法でお支払い下さい。

(4) 当日登録方法

事前登録をされていない方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催中は、受付に当日登録所を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

シンポジウム募集のお知らせ

日本体力医学会特別大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

【応募資格】

日本体力医学会会員

【応募方法】

1. 応募申込書作成要項

シンポジウム応募申込書を、特別大会ホームページ (<https://tairyoku-tokyo.com>) よりダウンロードし、Microsoft Wordで作成して下さい。

2. 送付方法

作成したファイルは電子メールに添付し、運営事務局 (mice-tsukuba@jtb.com) 宛に送付して下さい。電子メールの本文中には氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号、ファックス番号、電子メールアドレスを記載して下さい。

3. 締め切り

2023年3月10日(金) 正午まで

【選考方法】

特別大会の委員会内で審査し、選出いたします。

【結果通知】

選考結果は2023年4月下旬までに、シンポジウムオーガナイザー宛に通知いたします。

【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては学会参加費徴収を行いません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

査読をお願いした先生方は次の方々です

2021年12月1日～2022年11月30日投稿分

青木宏樹	紙上敬太	神事努	林恵嗣
阿部巧	川端悠	菅原順	林貢一郎
家光素行	河端将司	鈴木伸弥	林容市
池戸葵	河村拓史	鈴木康弘	原田和弘
石垣享	菊池宏幸	蘇リナ	福島教照
石原暢	岸本裕歩	高澤祐治	古川順光
稲垣直哉	城所哲宏	高橋佳三	法所遼汰
今井洋文	久保啓太郎	武田哲子	真家英俊
岩沼聡一郎	窪田敦之	武田典子	蒔苗裕平
臼井達矢	久米大祐	田中喜代次	松尾知明
江川達郎	黒坂光寿	田中茂穂	松下宗洋
海老原修	香村恵介	田平一行	萬井太規
大垣亮	小坂井留美	辻大士	三谷将史
大須賀洋祐	後藤一成	内藤久士	道下竜馬
大槻毅	小林茂	中川博文	守屋拓朗
小倉裕司	佐藤真治	中田大貴	矢野博己
尾崎隼朗	佐藤春彦	中村真理子	山口太一
甲斐裕子	佐野加奈絵	沼尾成晴	吉川義之
笠井信一	沢田秀司	根本裕太	芳田哲也
片山敬章	重松良祐	野上佳恵	渡邊裕之
鎌田真光	清水和弘	野口雄慶	渡辺賢

84名 (五十音順, 敬称略)

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2022年9月）議事録

日時：2022年9月20日(火) 午後5時30分～6時00分

場所：ZoomによるWeb会議

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長， 碓井外幸副理事長，
武政 徹常務理事， 赤間高雄， 井福裕俊，
太田 真， 栗原 敏， 後藤勝正， 小山勝弘，
下光輝一， 新開省二， 須田和裕， 須永美歌子，
竹森 重， 田中喜代次， 中里浩一， 永富良一，
成田和穂， 浜岡隆文， 宮内 卓， 宮川俊平，
和気秀文各理事， 井上 茂， 清田 寛各監事，
松山郁夫第78回大会長，
山津幸司第78回大会事務局
欠席者：西平賀昭副理事長， 大野 誠， 前田清司，
小林康孝， 定本朋子各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

2. 理事会開催日程について（鈴木理事長）

資料に基づき，今後の理事会日程案が提示され，以下の通り2023年9月までの理事会日程が決定した。

- ・2022年11月18日(金)
- ・2023年2月17日(金)
- ・2023年5月19日(金)
- ・2023年8月25日(金)
- ・2023年9月16日(土)

※2023年学術集会（早稲田大学）前日

【報告事項】

1. 各種委員会報告

鈴木理事長より，本理事会終了後，引き続き評議員会兼社員総会が開催される予定である。本理事会に於ける各種委員会報告は2022年9月2日の理事会での報告以降に生じた，新たな報告事項があれば，報告していただくよう，依頼があった。その結果，編集委員会報告のみとなった。

・編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき，報告がなされた。

仮想インパクトファクター

（クラリベイト・アナリティクス社調べ2022.8.22）

2021年に引用された回数21回／2019年～2020年に掲載されたすべての論文数59編

「JPFMS誌」 $21 \div 59 = 0.36$

（2020年 $39 \div 66 = 0.59$ ）（2019年 $20 \div 86 = 0.23$ ）

（2018年 $46 \div 93 = 0.49$ ）（2017年 $45 \div 92 = 0.49$ ）

（2016年 $28 \div 116 = 0.24$ ）（2015年 $16 \div 140 = 0.11$ ）

2. 日本体力医学会2023年東京シンポジウムについて（鈴木理事長）

鈴木理事長より，日本体力医学会2023年東京シンポジウムの進捗状況が報告された。

3. 第78回（佐賀）大会の進捗状況（山津第78回大会事務局）

第78回大会事務局の山津氏より，大会の準備状況について報告された。

一般社団法人日本体力医学会 令和4年度評議員会 議事録

日 時：2022年9月20日(火)
午後6時00分～午後7時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登， 碓井外幸， 武政 徹，
赤間高雄， 井福裕俊， 太田 真，
栗原 敏， 後藤勝正， 小山勝弘，
下光輝一， 新開省二， 須田和裕，
須永美歌子， 竹森 重， 田中喜代次，
中里浩一， 永富良一， 成田和穂，
浜岡隆文， 宮内 卓， 宮川俊平，
和気秀文各理事，
井上 茂， 清田 寛各監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち，武政常務理事より，“Zoomを用いたWeb形式による評議員会兼社員総会の成立”について説明された。定款によれば，評議員会は現評議員数506名のうち，委任状を含めた過半数（253名）以上の出席があれば開催可能となる。現時点（2022年9月20日午後5時30分）で，評議員Web登録委任状および往復はがき委任状併せて311名，Web理事会に出席している24名の理事，監事は全て評議員であり，合計335名となる。過半数253名を超えたので評議員会の開催が成立する旨，報告された。一方，社員総会については，定款第19条に“社員総会の決議は，出席した正会員の議決権の過半数をもって行う”と記載されており，何人以上の正会員の出席が必要という決まりはない旨，説明された。2022年9月20日のWeb形式社員総会に参加した会員数は24名であり，12名以上の承認によって決議される。尚，例年，評議員会兼社員総会会場に於いて配布される会議資料は日本体力医学会HPに掲載されていることが報告された。

武政常務理事により，Web形式による令和4年度評議員会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和4年度庶務報告に関する件（武政総務委員長）

1) 会員総数 3,686名（2022年7月31日現在）

名誉会員	33名
正会員	3,589名
シニア会員	51名
外国会員	7名
賛助会員	6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団，鶴岡印刷株式会社，公益財団法人明治安田厚生事業団，大塚製薬株式会社，株式会社ウイスマー，株式会社みらい翻訳

2) 役員数

評議員	506名
(内) 医師	70名
(内) 非医師	436名
(内) 理事	25名
監事	4名

3) 購読数	114団体
体力科学	108団体

JPFMSM	6団体
--------	-----

4) 年度内入退会状況

新入会員	241名
退会者	347名
(内) 申込者	186名
自然退会	161名

2. 令和4年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和4年度事業について報告された。

1) 事業期間

2021年(令和3年)8月1日～
2022年(令和4年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

◎学会大会長に関する事項

第78回大会（2024年，佐賀県開催）の大会長候補者として，松山郁夫氏（国立大学法人佐賀大学・教育学部・学校教育課程・教授）を2022年5月20日の理事会において推薦した。

・編集委員会

1. 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 10のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 11のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 70のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 71のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は，J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFMSM掲載論文リストのメール配信

3) ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFMSM」Vol. 11, No. 3

第4回特集：Physical fitness matters: epidemiology & measurement 9編掲載

「体力科学」Vol. 71, No. 3

第5回特集：骨盤底筋エクササイズを考える 5編掲載

2. Preprints

1) 「JPFMSM」投稿規定改訂（10/1）

「体力科学」投稿規定改訂（4/1）

2) 「Jxiv（ジェイカイブ）」オンライン説明会参加（3/17, 3/22, 7/28）

※3/24 J-STAGEプレプリントサーバ「Jxiv（ジェイカイブ）」運用開始

3. J-STAGE Data

1) 「利用申請書」提出（7/1）

- ※ 8月運用開始予定
- 2) 「J-STAGE Data」 オンライン説明会参加 (4/20, 5/16)
4. 二次出版 (Secondary Publication)
「JPFMSM」投稿規定改訂及び日本語版「二次出版について」HP更新 (7/22)
5. その他
ホームページの「Online First」に著者版の全文PDFを掲載開始 (10/21)
- ・学術委員会
1. スポーツ医学研修会委員会
新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年(令和4年)度も中止の旨2月18日理事会にて報告した。中止の決定は本学会ホームページ (2/21) および体力科学71巻2号にて告知した。
2. 称号委員会
「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2022年度：授与・贈呈者数3名に贈呈した。
※「コロナ禍」で影響を受けている。
3. 学会賞選考委員会
第35回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。
4. ガイドライン検討委員会
「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。
- ・財務委員会
令和5年度予算案の作成と令和4年度の予算の適切な執行の確認。
- ・利益相反委員会
情報収集に努めた。
- ・評議員選考委員会
1. 令和3年度評議員候補者19名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた(男性：19名、女性：0名)。
2. 評議員候補者申請書の書式が簡素化されたことを周知して募集したところ、28件の申請がありWeb会議にて審査を開始した(男性：24名、女性：4名)。
- ・渉外委員会
1. 国際交流事業
(ア) ECSS
①2021年(令和3年)9月 ECSS-JPFMSM Exchange Symposium (オンライン開催)
産業技術総合研究所 菅原順 (座長・演者)
徳島大学 三浦哉 (演者)
ARTERIAL STIFFNESS AND EXERCISE TRAINING
②2022年(令和4年)9月1日 ECSS 2022 Seville (対面式開催)
JPFMSM Exchange Symposium推薦
- BENEFIT OF MATERNAL EXERCISE AND PHYSICAL ACTIVITY ON CHILDRENS HEALTH
東北大学 永富良一 (座長) 東北大学 楠山讓二 (演者) 東海大学 松下宗洋 (演者)
- (イ) 韓国運動生理学会
①2022年(令和4年)4月8日 Joint Symposium for JSPFSM and KSEP (オンライン開催)
早稲田大学 秋本崇之 (座長) 早稲田大学 赤澤暢彦 (演者) 東北大学 門間陽樹 (演者)
2. 国内交流事業
(ア) 日本生理学会
①2022年(令和4年)3月17日 第99回日本生理学会大会 (仙台・ハイブリッド開催)
日本生理学会・日本体力医学会合同シンポジウム
順天堂大学 和気秀文 (オーガナイザー・座長)
東北大学 永富良一 (座長)
演者：東北大学 門間陽樹 駿河台大学 丸藤祐子 順天堂大学 福典之 順天堂大学 山中航
- (イ) 日本医学会連合
①2022年(令和4年)4月1日 日本医学会連合「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」(オンライン開催)に参加
- ・倫理委員会
1. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
- ・広報委員会
1. 学会ホームページの管理・運営
- ・男女共同参画推進委員会
1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. ワークショップ開催に関する検討
- ・全国地方会実行委員会
地方会の対面開催が徐々に増えている。関東地方会では甲信地区にも参加を呼び掛けて地方会を開催した。
- 3) 第76回日本体力医学会大会の実施
大会長：加藤 公 (鈴鹿回生病院 院長)
会 期：2021年(令和3年)9月17日(金)～19日(日)
会 場：Web開催
- 4) 令和4年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者
・継続 3名
内山 雅文 北村 拓也 長谷川 芳子
3. 令和5年度事業計画に関する件 (各委員長)
令和5年度事業計画について、以下のような報告がなされた。
- 1) 事業期間
2022年(令和4年)8月1日～
2023年(令和5年)7月31日
- 2) 委員会活動
・総務委員会

- 第79回滋賀大会（2025年）の大会長の推薦
2023東京シンポジウムのサポート
次期理事・評議員会長・監事等の選挙に関わる総務
学会総務に関わる規則の見直し
- ・編集委員会
 - 1) ジャーナルの発行, 公開 (J-STAGE, DOAJ)
JPFSSM: Vol. 11-4~12-3 (合計6号)
体力科学: Vol. 71-4~72-3 (合計6号)
 - 2) 掲載論文数を増やす
[JPFSSM]: 特集を掲載する.
[体力科学]: 特集を掲載する.
 - ・学術委員会
 - 1) スポーツ医学研修会委員会
第31回スポーツ医学研修会（於日体大）の中止
（学会HP・体力科学に案内を掲載）
※令和2・3年度に引き続き第31回スポーツ医学研修会を中止する（コロナ禍での安全・安心対策としての対応による）.
 - 2) 称号委員会
日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する.
〔称号の有効期間である5年間（継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要。）に、令和2年度～4年度分をカウントしない（除いて5年間の意）。〕
詳細は以下の通りとする。尚、令和4年度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する。
<2020～2022年度分を除く有効期間5年間について>
※2015年度からの5年間分は、2019年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
※2016年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2023年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
※2017年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
※2018年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
※2019年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2026年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与
 - 3) 学会賞選考委員会
第36回日本体力医学会賞候補の選考を実施する.
 - 4) ガイドライン検討委員会
わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく.
 - ・財務委員会
令和6年度予算案の作成
- 大会における本部企画シンポジウムなどの予算計上について
- ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）の周知をはかり、評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す.
 - ・渉外委員会
 - 1) 国際交流事業
 - (ア) ECSS-JPFSSM交流シンポジウム (ECSS 2023 Paris) シンポジウム企画公募
 - ①ECSS若手研究者賞 (YIA) 受賞者の次年度体力医学会学術大会への招聘：検討中
 - (イ) 韓国運動生理学会－日本体力医学会交流シンポジウム
 - ①宇都宮大会においてシンポジウム企画提案
 - ②4月開催の韓国運動生理学会シンポジウム参加者公募予定
 - (ウ) 国際学会参加奨励制度
 - ①海外渡航による学会参加が十分に可能になった時点で再開予定。奨励対象基準について検討中
 - (エ) 東アジア学術交流 検討中
 - ①アジアキネジオロジー学会 Asian Society of Kinesiology (ASK)
 - (1) 2023 11th Asian Conference of Kinesiology 開催予定
大会会長 宮川俊平会長
 - ②スポーツ科学会議 Asian College of Sports Science (ACCESS)
 - (1) 2022年(令和4年)12月 第一回オンライン学会開催予定
 - 2) 国内関連学術団体との交流・連携（継続）
 - (ア) 脳心血管病協議会
 - (イ) 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ
 - ①参考2022年(令和4年)4月1日 日本医学会フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言
 - (ウ) その他
 - ・倫理委員会
 - 1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - 2) 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
 - ・広報委員会
 - 1) ホームページのコンテンツに関する検討
 - 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動
 - ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
 - ・利益相反委員会
情報収集に努める
 - ・全国地方会実行委員会
地方会運営に遠隔会合を活かすことも視野にいれて、知恵を出し合う.
- 3) 第77回日本体力医学会大会（栃木）の準備
大会長：小橋 元

(獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授)

会 期：2022年(令和4年)9月21日(水)～
2022年9月23日(金)

会 場：新型コロナウイルス感染拡大のため、8月10日付け
で、栃木県総合文化センターから完全オン
ライン開催に変更になった。

4) 2023年度日本体力医学会大会の準備

5) 第78回日本体力医学会大会(佐賀)の準備

大会長：松山郁夫

(佐賀大学教育学部学校教育課程教授)

4. 令和5年度会計報告(予算)に関する件

(宮川財務委員長)

令和5年度予算書が提示され、令和5年度の収入額
合計61,159,100円、支出合計額が65,189,600円で、赤字
見込みである旨、報告された。

5. 令和4年度会計報告(会計)に関する件

(宮川財務委員長)

令和4年度決算について、当年度収支としては
2,978,947円の黒字となり、次年度繰越金は90,910,953
円になったとの報告があった。本決算については公認
会計士によるチェックが行われている事が併せて報告
があり、引き続き清田監事より監査報告が行われたこ

とが報告された。

6. その他

1) 小橋大会長より、挨拶と第77回大会概要の報告が
なされた。

【審議事項】

1. 評議員推薦に関する件(鈴木理事長)

大野評議員選考委員長が欠席のため、鈴木理事長が
代理で報告された。

令和4年度評議員推薦に関しては28名の推薦があ
り、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格
を有するとの報告に基づき、審議の結果、承認された。
新評議員(28名)

赤澤暢彦	安部孝文	天笠志保
位高駿夫	枝伸彦	小野玲
片山昭彦	菊池宏幸	木戸康平
桑原恵介	笹山健作	清野諭
染谷由希	谷澤薫平	辻大士
辻本健彦	中尾武平	中潟崇
橋崎兼司	畑山知子	福島教照
藤江隼平	本田貴紀	山根基
横山真吾	吉澤裕世	若林斉
渡邊裕也		

一般社団法人日本体力医学会 令和4年度社員総会 議事録

日 時：2022年9月20日(火)

午後6時00分～午後7時00分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登、碓井外幸、武政 徹、
赤間高雄、井福裕俊、太田 真、
栗原 敏、後藤勝正、小山勝弘、
下光輝一、新開省二、須田和裕、
須永美歌子、竹森 重、田中喜代次、
中里浩一、永富良一、成田和穂、
浜岡隆文、宮内 卓、宮川俊平、
和気秀文各理事、
井上 茂、清田 寛各監事

出席社員数：24名(議決権個数24個)

議事録作成者：鈴木政登

議事に先立ち、武政常務理事より、“Zoomを用いた
Web形式による評議員会兼社員総会の成立”について説
明された。定款によれば、評議員会は現評議員数506名
のうち、委任状を含めた過半数(253名)以上の出席が
あれば開催可能となる。現時点(2022年9月20日午後
5時30分)で、評議員Web登録委任状および往復はが
き委任状併せて311名、Web理事会に出席している24名
の理事、監事は全て評議員であり、合計335名となる。
過半数253名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、
報告された。一方、社員総会については、定款第19条
に“社員総会の決議は、出席した正会員の議決権の過半

数をもって行う”と記載されており、何人以上の正会員
の出席が必要という決まりはない旨、説明された。2022
年9月20日のWeb形式社員総会に参加した会員数は24
名であり、12名以上の承認によって決議される。尚、例
年、評議員会兼社員総会会場に於いて配布される会議資
料は日本体力医学会HPに掲載されていることが報告さ
れた。

武政常務理事により、Web形式による令和4年度社員
総会開催が宣言された。

【報告事項】

1. 令和4年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

1) 会員総数 3,686名(2022年7月31日現在)

名誉会員	33名
正会員	3,589名
シニア会員	51名
外国会員	7名
賛助会員	6団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興
財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田
厚生事業団、大塚製薬株式会社、株式会社ウイスマー、株式会社みらい翻訳

2) 役員数

評議員	506名
(内) 医師	70名
(内) 非医師	436名
(内) 理事	25名

監 事	4名
3) 購読数	114団体
体力科学	108団体
JPFMSM	6団体
4) 年度内入退会状況	
新入会員	241名
退 会 者	347名
(内) 申 込 者	186名
自然退会	161名

2. 令和4年度事業報告に関する件 (各委員長)

以下のとおり令和4年度事業について報告された。

1) 事業期間

2021年(令和3年)8月1日～

2022年(令和4年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

◎学会大会長に関する事項

第78回大会(2024年, 佐賀県開催)の大会長候補者として, 松山郁夫氏(国立大学法人佐賀大学・教育学部・学校教育課程・教授)を2022年5月20日の理事会において推薦した。

・編集委員会

1. 学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 10のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 11のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 70のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 71のNo. 1, No. 2, No. 3

1) 電子ジャーナルの公開は, J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

2) JPFMSM掲載論文リストのメール配信

3) ジャーナルの活性化対策の検討「特集号」の掲載・企画

注目されているhot topicに焦点を当てた「特集号」を掲載

「JPFMSM」Vol. 11, No. 3

第4回特集: Physical fitness matters: epidemiology & measurement 9編掲載

「体力科学」Vol. 71, No. 3

第5回特集: 骨盤底筋エクササイズを考える 5編掲載

2. Preprints

1) 「JPFMSM」投稿規定改訂(10/1)

「体力科学」投稿規定改訂(4/1)

2) 「Jxiv(ジェイカイブ)」オンライン説明会参加(3/17, 3/22, 7/28)

※3/24 J-STAGEプレプリントサーバ「Jxiv(ジェイカイブ)」運用開始

3. J-STAGE Data

1) 「利用申請書」提出(7/1)

※8月運用開始予定

2) 「J-STAGE Data」オンライン説明会参加(4/20, 5/16)

4. 二次出版(Secondary Publication)

「JPFMSM」投稿規定改訂及び日本語版「二次出版について」HP更新(7/22)

5. その他

ホームページの「Online First」に著者版の全文PDFを掲載開始(10/21)

・学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年(令和4年)度も中止の旨2月18日理事会にて報告した。中止の決定は本学会ホームページ(2/21)および体力科学71巻2号にて告知した。

2. 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」2022年度: 授与・贈呈者数3名に贈呈した。

※「コロナ禍」で影響を受けている。

3. 学会賞選考委員会

第35回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4. ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため, 「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに, 競技スポーツにおける安全対策, 特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

・財務委員会

令和5年度予算案の作成と令和4年度の予算の適切な執行の確認。

・利益相反委員会

情報収集に努めた。

・評議員選考委員会

1. 令和3年度評議員候補者19名を選定し, 理事会, 評議員会兼社員総会にて承認を受けた(男性: 19名, 女性: 0名)。

2. 評議員候補者申請書の書式が簡素化されたことを周知して募集したところ, 28件の申請がありWeb会議にて審査を開始した(男性: 24名, 女性: 4名)。

・渉外委員会

1. 国際交流事業

(ア) ECSS

①2021年(令和3年)9月 ECSS-JPFMSM Exchange Symposium(オンライン開催)
産業技術総合研究所 菅原順(座長・演者)
徳島大学 三浦哉(演者)
ARTERIAL STIFFNESS AND EXERCISE TRAINING

②2022年(令和4年)9月1日 ECSS 2022 Seville(対面式開催)
JPFMSM Exchange Symposium推薦
BENEFIT OF MATERNAL EXERCISE

AND PHYSICAL ACTIVITY ON CHILDRENS HEALTH

東北大学 永富良一（座長） 東北大学 楠山譲二（演者） 東海大学 松下宗洋（演者）

(イ) 韓国運動生理学会

①2022年(令和4年)4月8日 Joint Symposium for JSPFSM and KSEP（オンライン開催）

早稲田大学 秋本崇之（座長） 早稲田大学 赤澤暢彦（演者） 東北大学 門間陽樹（演者）

2. 国内交流事業

(ア) 日本生理学会

①2022年(令和4年)3月17日 第99回日本生理学会大会（仙台・ハイブリッド開催）
日本生理学会・日本体力医学会合同シンポジウム

順天堂大学 和気秀文（オーガナイザー・座長）
東北大学 永富良一（座長）
演者：東北大学 門間陽樹 駿河台大学 丸藤祐子 順天堂大学 福典之 順天堂大学 山中航

(イ) 日本医学会連合

①2022年(令和4年)4月1日 日本医学会連合「フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言」（オンライン開催）に参加

・倫理委員会

1. 大会の演題応募における倫理的手続きの検討

・広報委員会

1. 学会ホームページの管理・運営

・男女共同参画推進委員会

1. 男女共同参画学協会連絡会への参加
2. ワークショップ開催に関する検討

・全国地方会実行委員会

地方会の対面開催が徐々に増えている。関東地方会では甲信地区にも参加を呼び掛けて地方会を開催した。

3) 第76回日本体力医学会大会の実施

大会長：加藤 公（鈴鹿回生病院 院長）

会 期：2021年(令和3年)9月17日(金)～19日(日)

会 場：Web開催

4) 令和4年度日本体力医学会健康科学アドバイザー® 称号認定者

・継続 3名

内山雅文 北村拓也 長谷川芳子

3. 令和5年度事業計画に関する件（各委員長）

令和5年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

1) 事業期間

2022年(令和4年)8月1日～

2023年(令和5年)7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

第79回滋賀大会（2025年）の大会長の推薦

2023東京シンポジウムのサポート

次期理事・評議員会長・監事等の選挙に関わる総務学会総務に関わる規則の見直し

・編集委員会

1) ジャーナルの発行、公開（J-STAGE, DOAJ）

JPFSSM：Vol. 11-4～12-3（合計6号）

体力科学：Vol. 71-4～72-3（合計6号）

2) 掲載論文数を増やす

[JPFSSM]：特集を掲載する。

[体力科学]：特集を掲載する。

・学術委員会

1) スポーツ医学研修会委員会

第31回スポーツ医学研修会（於日体大）の中止（学会HP・体力科学に案内を掲載）

※令和2・3年度に引き続き第31回スポーツ医学研修会を中止する（コロナ禍での安全・安心対策としての対応による）。

2) 称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する。

[称号の有効期間である5年間（継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要。）に、令和2年度～4年度分をカウントしない（除いて5年間の意）。]

詳細は以下の通りとする。尚、令和4年度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する。

<2020～2022年度分を除く有効期間5年間について>

※2015年度からの5年間分は、2019年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2016年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2023年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2017年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2018年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2019年度からの5年間分は、2020～2022年度を除く2026年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

3) 学会賞選考委員会

第36回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。

4) ガイドライン検討委員会

わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく。

・財務委員会

令和6年度予算案の作成

大会における本部企画シンポジウムなどの予算計

上について

- ・評議員選考委員会
ホームページおよび機関誌に公開した評議員選考内規（令和2年2月21日改定）の周知をはかり、評議員推薦申請の増加と同時にとりわけ女性評議員の増加を目指す。
- ・渉外委員会
 - 1) 国際交流事業
 - (ア) ECSS-JPFSS交流シンポジウム（ECSS 2023 Paris）シンポジウム企画公募
 - ① ECSS若手研究者賞（YIA）受賞者の次年度体力医学会学術大会への招聘：検討中
 - (イ) 韓国運動生理学会－日本体力医学会交流シンポジウム
 - ① 宇都宮大会においてシンポジウム企画提案
 - ② 4月開催の韓国運動生理学会シンポジウム参加者公募予定
 - (ウ) 国際学会参加奨励制度
 - ① 海外渡航による学会参加が十分に可能になった時点で再開予定。奨励対象基準について検討中
 - (エ) 東アジア学術交流 検討中
 - ① アジアキネジオロジー学会 Asian Society of Kinesiology（ASK）
 - (1) 2023 11th Asian Conference of Kinesiology 開催予定
大会会長 宮川俊平会長
 - ② スポーツ科学会議 Asian College of Sports Science（ACCESS）
 - (1) 2022年（令和4年）12月 第一回オンライン学会開催予定
 - 2) 国内関連学術団体との交流・連携（継続）
 - (ア) 脳心血管病協議会
 - (イ) 日本医学会連合 領域横断的なフレイル・ロコモ対策の推進に向けたワーキンググループ
 - ① 参考2022年（令和4年）4月1日 日本医学会フレイル・ロコモ克服のための医学会宣言
 - (ウ) その他
- ・倫理委員会
 - 1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発
 - 2) 大会の演題応募における倫理的手続きの検討
- ・広報委員会
 - 1) ホームページのコンテンツに関する検討
 - 2) その他、本学会に関わる事項の広報活動
- ・男女共同参画推進委員会
 - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
 - 2) 学術大会での企画検討・実施
- ・利益相反委員会
情報収集に努める
- ・全国地方会実行委員会
地方会運営に遠隔会合を活かすことも視野にいれ

て、知恵を出し合う。

- 3) 第77回日本体力医学会大会（栃木）の準備
大会長：小橋 元
（獨協医科大学医学部公衆衛生学講座教授）
会 期：2022年（令和4年）9月21日（水）～
2022年9月23日（金）
会 場：新型コロナウイルス感染拡大のため、8月10日付けで、栃木県総合文化センターから完全オンライン開催に変更になった。
- 4) 2023年度日本体力医学会大会の準備
- 5) 第78回日本体力医学会大会（佐賀）の準備
大会長：松山郁夫
（佐賀大学教育学部学校教育課程教授）

4. 令和5年度会計報告（予算）に関する件 （宮川財務委員長）

令和5年度予算書が提示され、令和5年度の収入額合計61,159,100円、支出合計額が65,189,600円で、赤字見込みである旨、報告された。

5. 評議員推薦に関する件（鈴木理事長）

大野評議員選考委員長が欠席のため、鈴木理事長が代理で報告された。

令和4年度評議員推薦に関しては28名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有するとの報告に基づき、評議員会にて承認された旨、報告された。

新評議員（28名）

赤澤暢彦	安部孝文	天笠志保
位高駿夫	枝伸彦	小野玲
片山昭彦	菊池宏幸	木戸康平
桑原恵介	笹山健作	清野諭
染谷由希	谷澤薫平	辻大士
辻本健彦	中尾武平	中潟崇
橋崎兼司	畑山知子	福島教照
藤江隼平	本田貴紀	山根基
横山真吾	吉澤裕世	若林齊
渡邊裕也		

6. その他

- 1) 小橋大会長より、挨拶と第77回大会概要の報告がなされた。

【審議事項】

1. 令和4年度会計報告（会計）に関する件 （宮川財務委員長）

令和4年度決算について、当年度収支としては2,978,947円の黒字となり、次年度繰越金は90,910,953円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われ、審議の結果、承認された。

第27回日本体力医学会東海地方会のご案内

【日時】2023年3月19日(日) 9:00~17:00 (予定)
 【会場】三重大学 イノベーション学研究所C棟2階
 地域イノベーションホール



・学内キャンパスマップ



【大会長】富樫健二 (三重大学 教育学部保健体育科)

【参加費】

1. 一般 2,000円, 2. 学生・大学院生 1,000円
 (支払い方法は個別に参加者の方へご連絡いたします)

【予定プログラム】

- 1) 一般演題
- 2) 特別講演「トップアスリートの医科学サポートについて ~東京オリンピックでの活動を通して~」
 演者: 杉田正明 (日本体育大学)
- 3) シンポジウム「医用画像を用いた健常者および患者における生体内情報の評価」
 オーガナイザー: 秋間 広 (名古屋大学)
 演者: 北川美南 (名古屋大学), 丹羽史織 (名古屋大学), 吉子彰人 (中京大学)

【参加登録事前申込】

- ・必須 (新型コロナウイルス感染症対策のため, 当日の参加申込みはできません)


参加希望者は, google formsで事前登録を行ってください.



事前登録→

- ・参加登録事前申込の締切日: 2023年3月12日(日)

【一般演題申込】

- ・参加登録申込に引き続き, Excelファイルにて演題の登録をお願いします.
 演題登録用ファイル→ 
- ・一般演題の申込は, 大会事務局へのE-mailでのみ受け付けます.
 提出先 suito@edu.mie-u.ac.jp
- ・演題申込の締切日: 2023年2月5日(日)
- ・発表者が非会員の場合, 体力科学掲載料として別途3,000円を学会大会当日に徴収いたします.
- ・一般演題から1-2演題を選出し, 「奨励賞」を授与致します.

対象者

- 年齢が40歳未満
- 日本体力医学会会員
- 本奨励賞を過去に受賞していない者

【資格更新単位について】

健康運動指導士及び健康運動実践指導者 (申請中)

【連絡先】

第27回日本体力医学会東海地方会学術集会事務局
 水藤弘吏 (三重大学 教育学部保健体育科)
 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577
 TEL: 059-232-9294 (直通)
 E-mail: suito@edu.mie-u.ac.jp

編 集 後 記

体力科学72巻1号をお届けします。本号は、9月に東京都で開催されます日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－のご案内（第2報）、昨年9月に開催されました第77回大会（栃木大会）の指定演題の抄録、JPFISM, Vol. 12, No. 1（2023）の抄録などで構成されています。また、お知らせの項に、2021年12月1日～2022年11月30日投稿分の査読を担当して下さった先生方の一覧が掲載されています。ご多忙の中、査読をお引き受け下さいました先生方に心から感謝いたします。会員の皆様には、引き続き、体力科学およびJPFISMへのご投稿をお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、記憶に新しいのはFIFAワールドカップです。日本代表の躍進や各国代表のダイナミックなプレーに心を躍らせた方も多いのではないのでしょうか。特に、アルゼンチン代表がフランス代表をPK戦の末に破った決勝は歴史に残る名勝負でした。この大会では、多数のカメラ、人工知能、ボールに内蔵されたセンサー等によるビデオ・アシスタント・レフェリー（VAR）も話題になりました。スポーツから人間臭さが失われる等の批判もありますが、テクノロジーの進歩は驚嘆と称賛に値しますし、何事にも、より良いあり方を模索し続ける姿勢は必要ではないでしょうか。私たちもその姿勢を見習って研究に取り組み、体力医学の発展に尽力したいものです。

また、(公財)日本漢字能力検定協会による「今年の漢字」には「戦」が、ユーキャン新語・流行語大賞のトップ10には「キーウ」が選出されました。言うまでもありませんが、これらの背景にはロシアのウクライナ侵攻があります。約20年前のことですが、初めて参加したアメリカスポーツ医学会大会で、軍服姿の発表者が何人もいて驚きました。恥ずかしながら発表内容は記憶にありませんが、体力医学には兵士の健康・体力増進も期待されているのでしょう。わが国では、日本学術会議が軍事研究は行わないという声明を発表しています。その一方で、同会議は軍事利用される技術・知識と民生利用される技術・知識との区別が困難であることも認めており、少なくとも数の大学・研究所が防衛装備庁の研究助成金に応募しています。私たちの研究成果も、戦災者の健康保持に貢献することもあれば、侵略に利用されることもあるかもしれません。世界情勢から目を背けることなく、社会の一員として、責任と誠意を持って研究と教育に取り組みたいと思います。

2023年はうさぎ年です。うさぎは多産で繁殖しやすいことから豊穡のシンボルとされているそうです。皆様のご研究が一層発展し、豊かな成果を得られますことを祈念いたします。

大 槻 毅

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.72, No.1

体 力 科 学 第 72 巻 第 1 号

令和 5 年 1 月 25 日 印 刷
令和 5 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1
鶴岡印刷株式会社
